

2020年10月吉日

OB・OG 各位  
部員保護者 各位

同志社大学体育会少林寺拳法部  
監督 前川 明信

## 部活動近況報告

合掌

秋分の候 皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、4月から6月までは大学施設が使用できず、オンラインでのみ活動していましたが、7月1日から大学の許可を得て、専有道場で練習を再開しました。

部員が一堂に会する練習は久しぶりだったため、体力的には辛そうでしたが、慣れ親しんだ道場で仲間たちと顔を合わせる事ができた喜びからか、笑顔で練習する皆の姿が印象的でした。

その後、大学の期末試験開始とともに、わが部も春学期の活動を終え、夏季休暇に入りました。

この間に、3月から延期されていた昇格試験が実施されることになり、受験対象者と相談のうえお盆休み前後に数回練習しました。冷房をつけてもなお蒸し暑い道場で、そのうえマスク着用を義務付けていたため、夜間に練習し、水分補給と休憩をこまめにとることで、熱中症対策を心掛けました。8月23日の試験当日は、気合を出すことが禁止され、また相対時には相手と接触をせず単独で動作をするなど異例づくめでしたが、休暇を返上して酷暑のなか練習した甲斐もあり、受験者10名全員が無事合格しました。一緒に練習してくれたコーチや部員にも感謝します。

9月に入り、5日から秋学期の活動を開始しました。それまでとの大きな違いは、相手と接触を伴う技術修練を始めたことです。大学や(一財)少林寺拳法連盟が定める規則に沿って、マスクの着用、換気の徹底、手足や物品の消毒など、様々な制約があるものの、少林寺拳法の特徴である「組手主体」の修練が可能になったことで、練習メニューの幅が格段に広がりました。

また、春学期は行事が一切実施できませんでしたが、チームにとっての大事な節目として、9月19日に入部式と幹部交代式を挙行しました。緊張しながらも今後の目標を宣言した10名の一回生、力強く幹部就任の決意表明をした三回生、重責を全うし達成感に満ちた四回生。部長やOB・OG会長にもご列席いただき、全員が新たな気持ちで結束した新チームの船出となりました。

今後について、まず11月8日に開催が決定した全日本学生大会に向けて、新主将の森内を中心に一致団結して練習に励みます。思い通りに活動できなかったこれまでの悔しさをバネに、部員同士が切磋琢磨し、また援け合うことで、人格・技術ともに成長してもらいたいです。

毎年恒例の夏合宿とOB・OG・現役合同練習会は、練習時間の制限や、宿泊及び飲食を伴う活動が禁止されていることを踏まえて、残念ですが本年度は中止いたします。しかしながら、新幹部の斬新なアイデアで、OB・OG・現役部員の交流イベントをオンラインで開催予定です。後日ご案内しますので、皆さま是非ご参加ください。なお、現役部員の最新活動状況や行事等のご案内は、公式ホームページやTwitterで出来る限り迅速に発信しておりますので、ご覧ください。

最後に、コロナ禍による異例の活動により、OB・OGの皆様、部員の保護者の皆様には、大変ご心配とご迷惑をおかけしておりますこと、重ねてお詫び申し上げます。今後もチーム一丸となって努力いたしますので、ご理解とご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

再合掌